

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子供たちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。



木の岡ビオトープ

夏の自然観察会(8月6日)

魚類採取

ブルーギル、オオグチバス、ザリガニ、オタマジャクシなどがとれました。

琵琶湖博物館の前畑先生にザリガニの性別の見分け方や、どこから排泄するのか、またオタマジャクシの息をする場所など、実物を使った説明をしていただきました。



前畑先生には投網の実演もしていただきました。



植物観察

湿地林の中で、小林先生におにぐるみについて解説していただきました。

その後、若いおにぐるみの実をみんなで試食しました。

ブルーシートを敷いて自然の日陰の中で自然観察会を開きました。



秋の自然観察会(10月19日)

昆虫採取

バッタ、コオロギ、カマキリ、チョウチョなどがとれました。

遠藤先生に昆虫の解説や採取の仕方をおしえていただきました。



植物観察

湿地林の中に植生するいろんな植物を観察しました。磨くと10円玉がきれいになる葉や、においのする葉、いろんな植物を観察しました。

クラフトづくりと試食

おにぐるみを使ったカメラと、回すとセミの声がするせみのおもちゃをつくりました。クラフトづくりの終了後、みんなで、野生のおにぐるみとアケビを試食しました。



木の岡ビオトープの保全活動

定期的な保全活動を行いました。

	活動内容
第1回	除草・ゴミ拾い
第2回	除草・ゴミ拾い
第3回	ワンドの整備
第4回	除草、ワンドの整備
第5回	順路の設定
第6回	順路標識の設置、除草
第7回	中止
第8回	順路標識の設置、除草



順路を設定して、順路標識を設置したので、ビオトープ内を散策しやすくなりました。



木の岡ビオトープについて

残されていた自然環境(木の岡ビオトープ)

木の岡地区の湖岸は、湖底がなだらかな傾斜をなし、陸域から水域まで、様々な水辺特有の植物が生育しています。これらの植物は水中と陸という異なった環境を緩やかにつなぎ、多くの生物が相互に関係を持ちながら存在する良好なビオトープになっています。

木の岡地区は、市街地の広がる南湖の沿岸でありながら開発の手から免れており、幅が100m、面積が4haにもおよぶまとまりのある自然環境が残された非常に貴重な場所です。

一緒に木の岡ビオトープを守りませんか？

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープで自然観察会の開催や清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる個人や団体を対象に会員募集を行っています。

会員の方は、ニュースレター"おにぐるみ通信"の配信や、各種活動の案内のご送付、イベント等へ優先的にご参加いただけます。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。



発行者

おにぐるみの学校事務局

〒520-8577 大津市三井寺町2-33 中西方

FAX 077-522-9568

E-mail ynakanic@skyblue.ocn.jp